



独立行政法人 国立病院機構  
村山医療センター

Vol.36

平成 29 年 8 月発行  
発行者 院長 朝妻 孝仁

# 医療連携通信

〒208-0011 東京都武蔵村山市学園 2-37-1 TEL 042-561-1221 FAX 042-564-2210 <http://www.murayama-hosp.jp/>

## 平成30年秋新病棟が完成します



### 目 次

- ◇ 人工関節センターのご案内 . . . . . 2
- ◇ 女性医師による乳腺外来始まりました . . . . . 7
- ◇ 村山医療センターへの外来受診方法のお知らせ . . . . . 9
- ◇ 外来診療担当医師 . . . . . 10

## 人工関節センターのご案内

平成 29 年 8 月 31 日(木)発売の週刊文春(9 月 7 日号)誌上において当院人工関節センターの活動内容が取り上げられることになりました。

人工関節センターの概要をご案内させていただきます。

### はじめに

近年の高齢化社会の到来により、また人工関節自体の耐久性、精度が向上した事により本邦の人工関節置換術の手術件数は膝関節及び股関節共にこの 10 年で約 2 倍に増加したと報告されております(膝関節 83000 件、股関節 55800 件 - 「人工関節ライフ」より -)。

実際、当院でも下記の表に示しますように人工膝関節置換術、人工股関節置換術の手術件数は増加を認めています。

これらの状況を鑑み、より集約的な治療の実践と術後の継続的な診療を目標として当院では 2017 年 4 月から人工関節センターを開設致しました。

### 2012 ~ 2016 年 人工関節置換術年度別手術件数

年度別手術件数	2012 年	2013 年	2014 年	2015 年	2016 年	過去 5 年総数
人工膝関節置換術	84	91	89	100	98	462
人工股関節置換術	61	68	67	93	94	383

当院の特徴としましては膝関節、股関節のどちらかに手術件数が偏ること無くほぼ均一に施行されている事や国内随一の手術件数を誇る当院の脊椎グループと密に連携して Hip-Spine Syndrome (股関節 - 脊椎疾患) や Knee-Spine Syndrome (膝 - 脊椎疾患) の患者さんの治療を円滑に行っている事などが挙げられます。

また 2016 年 1 月より防衛医科大学校病院で 17 年間、一貫して股関節の手術を担当されていた吉原愛雄先生が常勤医として当院に赴任されました。

現在、当院では 4 人の関節専門医による診療体制が整っております。

人工関節センターの開設に至り今まで以上に地域の方々にはより身近に、開業医の先生方にはより密に連携を取らせて頂き、当院人工関節センターのモットーである「**長期的な観点で低侵襲となる診療**」、「**安全で確実な手術**」をより多くの方々に提供していきたいと思っております。

## 人工関節センターの特徴・一般編

「低侵襲」、「最小侵襲手術 (MIS)」という概念は、一般的には皮膚や筋肉、軟部組織への負担を軽減すること、即ち術中の侵襲を押さえることを意味します。しかし長期的には、術中の侵襲を押さえるだけでなく、「安全で確実な手術」により術中術後の合併症の発生を防ぐことこそが患者さんにとって真の低侵襲につながります。当院人工関節センターでは、入念な術前計画の元に正確な手術を遂行し、術後合併症（トラブル）を長期間に渡って発生させない事、つまり「長期的な観点で低侵襲となる診療」を目標としています。

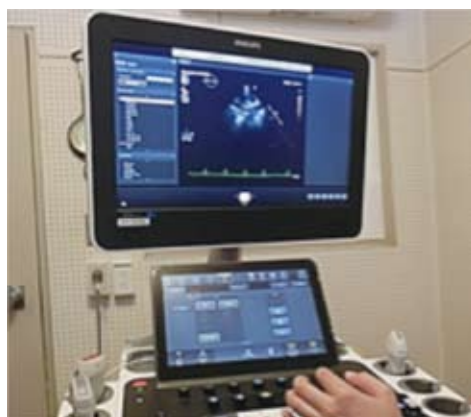
その為には術前（入院前）から手術、退院までの流れがしっかりと統一されている事、必要に応じた対策を講じられる事などが肝要となります。

### ① 全身状態の把握

手術の適応があると判断し、患者さんからも手術の希望があった場合には、まず術前検査を行います。安全に手術を受ける事が出来るか、耐術能の評価（手術に十分に耐えられる全身状態であるかどうか）を1人1人精査します。一般的な検査に加えて、50歳以上の方には心臓の超音波検査を行い循環器内科医師による心機能の評価を実施しております。

また術後の肺塞栓症発生などの重篤な合併症を予防する為に術前より下肢全体の超音波検査も行い治療が必要な血栓が下肢に出来ていないかを確認します（下肢超音波検査は術後にも行います）。

内科的な疾患が見つかった場合は必要に応じ内科治療を優先して頂きます。



### ② クリティカルパスの導入

入院後は、術前準備→術後合併症の予防→リハビリテーション→退院の流れをクリティカルパスの導入により統一し、全ての患者さんに等しく質の高い医療を提供して参ります。

### ③ リハビリテーションの充実及びその期間の確保

運動器の手術では、術後のリハビリテーションが肝要である事は言うまでもありません。術後1日目から早期リハビリテーションを開始し、全身状態が落ち着きましたらリハビリテーション専門病棟に転棟して頂きます。広く明るいリハビリテーション室には50人を超えるスタッフ（理学療法士は28人）が勤務しております。1人につき1人の専任スタッフ

が責任を持って1日2時間（朝と夕の1時間ずつ）、回復状況にあった、また患者さんの病状に即したりハビリテーションを実施しています。そのため術後2～3週間の早期退院を目指すことも可能になりますが、ご高齢の方は階段昇降が可能になるまで十分なりハビリテーションを受けていただいております。退院に対して不安のある患者さんの場合は、試験外出、外泊を重ねて頂き、その状況を踏まえて主治医との相談で退院日を決定します。



#### ④股関節、膝関節に付随した脊椎疾患の診療も充実

現在、当院における整形外科スタッフは総勢17人。その内訳は関節グループ4人、**脊椎グループ13人**で構成されております。膝、股関節は、骨盤を介して脊椎に連結しているため、膝関節疾患や股関節疾患は脊椎の病気を惹起することがあります。Hip（股）-Spine（脊椎）Syndrome や、Knee（膝）-Spine（脊椎）Syndrome と呼ばれています。当院では、充実した脊椎グループ医師により、これらに対する診療体制もしっかり整っております。

当院整形外科全スタッフはこちらより

<http://www.murayama-hosp.jp/orthopedics/index.html>

#### 当院関節センターの特徴・手術編

##### ①回収式自己血輸血の実施

手術中あるいは術後に生じた出血を丁寧に回収しております。そしてろ過、洗浄した血液を戻す装置を人工膝関節置換術、人工股関節置換術のどちらの手術でも採用しております。

この装置によって術後輸血が必要となる方は殆どいなくなりました。また必要に応じて術前に自分の血を貯める[貯血式自己血]も行っております。





## ②関節専門医による手術

関節専門医 4 人の内、全員または 3 人で必ず手術にあたります。同じメンバーで手術を遂行する事により手術の精度及び手術時間の短縮に寄与しております。

## ③感染症対策

人工関節置換術を実施する上で重篤な合併症の一つに**感染症**があります。

当センターではクリーンルームの使用、十分な皮膚の洗浄・消毒時間の確保、防護服の着用、ジェット洗浄機による創部洗浄、抗菌剤入りの縫合糸の使用等、徹底した感染症発生の予防策を行っております。これらの対策により、一般的に約 1.0% と報告されている術後早期感染の発生率が直近の過去 3 年間（平成 26 年 4 月から平成 29 年 3 月まで）においては **0.19%** に押さえられました。

また先の手術時間の短縮も重要な感染症発生対策の一つであると考えております。



## ④深部静脈血栓症 (DVT) 対策

手術による侵襲や術後の下肢安静、脱水状態がウィルヒョウの 3 要素（血管内膜損傷、血液のうっ滞、血液凝固能亢進）を来すため、下肢の人工関節置換術後は深部静脈血栓症 (DVT) が発症しやすいとされております。特に人工膝関節置換術を施行された患者さんの約 60% に DVT が合併しているとも報告されております。

当センターでは予防対策として術中、術後のフットポンプの着用、術後 2 日目より抗凝

固薬（血液をサラサラにする薬）の内服を行っています。さらに、術後 3 日目もしくは 4 日目に術前でも実施した下肢超音波検査を行い血栓の有無を調べます。

もし血栓が発生してしまった場合、直ぐに処置をする体制を整えております。

### ⑤術後の疼痛対策

ほぼ全例の方に麻酔科専門医による硬膜外麻酔を実施します。脊椎麻酔（下半身麻酔）よりも少し軽い麻酔だと御想像下さい。特に痛みのピークである術後 48 時間までの痛みを軽減するように努めております。その他にも注射や座薬、内服薬等の併用も行います。痛みが強い時は遠慮せずに看護師、医師に御報告して頂いております。

### 人工関節センターのスタッフ及び外来担当曜日について

☆関節専門外来は整形外科外来で実施しております。

紹介状をお持ちで無く、初めて来院される場合は、ご都合の良い曜日の初診予約をお電話またはホームページからのオンラインにて、予約をお取り頂けますと幸いです。

専門ダイヤルは（042-561-1698）または（042-561-0965）まで。

受付時間は 13 時～ 17 時です。

オンライン予約は <http://www.murayama-hosp.jp/online/index.html> になります。

紹介状をお持ちの方、または開業医の先生からのご紹介は、当院地域連携室を通じてご都合の良い曜日の再診担当曜日（地域連携枠）をご活用して下さい。

地域連携枠は代表番号（042-561-1221）におかけして頂き予約を取る事が可能です。

（※地域連携枠に関しましては随時ご対応をさせて頂いております。まずは御連絡を。）

### 人工関節センタースタッフ

			
関節外科部長 吉原愛雄 初診・第 3 金曜日 再診・木曜日	人工関節センター長 笹崎義弘 初診・第 2 水曜日 再診・金曜日	窪田秀次郎 初診・第 1 金曜日 第 4 金曜日 再診・水曜日	清水英徳 初診・第 1 木曜日 第 4 水曜日 再診・月曜日

## 女性医師による乳腺外来が始まりました。



外科 非常勤医師

外来 毎週水曜日 午前

平野 あづさ

2003年医師免許取得

日本外科学会専門医

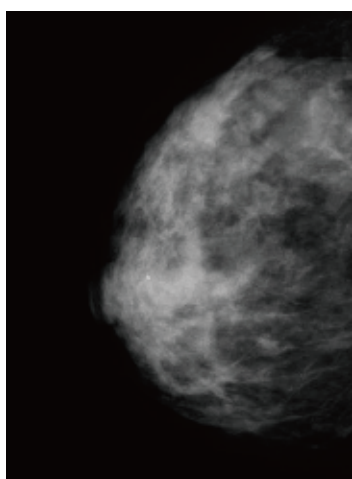
検診マンモグラフィー読影認定医

## コメント

5月より、非常勤として診療をさせていただいている平野あづさと申します。消化器一般や痔核に対する診療だけでなく、乳がん検診も行っています。乳がんは40歳代に好発するがんで、日本でも年々乳がん患者さんが増えています。

乳がんは早期に発見し治療することで、治癒が期待出来るがんです。そのため自覚症状がまったくない女性でも、2年に1回の検診を受けることが推奨されています。マンモグラフィ検診を受けることで、しこりとして触れる前の早期の乳がんを発見できる可能性があり、乳がんで亡くなる方を減らすことができます。しかしながらマンモグラフィ検診を受ける方は、欧米では60～80%に達しますが、日本では30%程度とまだ少ないのが現状です。

## マンモグラフィ



## 撮影機械



当院では、女性の放射線技師がマンモグラフィの撮影を行っています。

マンモグラフィ検診で「異常あり」とされた方は精密検査を受けていただきますが、すべての方が乳がんというわけではありません。マンモグラフィで写ったものが、良性か悪性かを精密検査で調べていきます。

当院、村山医療センターではマンモグラフィに加え超音波検査や、細胞診を行うことも可能です。

マンモグラフィーの撮影は、板と板の間に乳房を引き出して挟み、圧迫して薄く伸ばして行います。



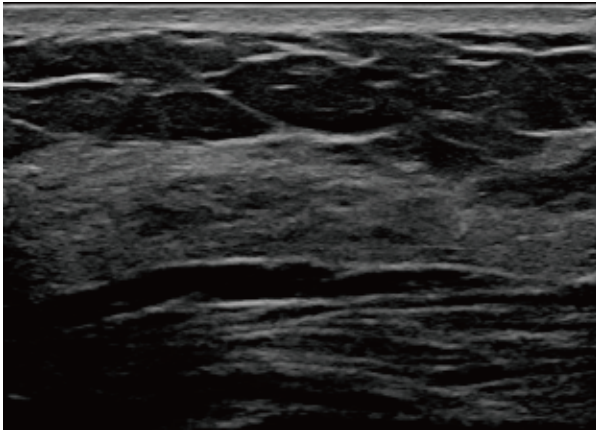
また、マンモグラフィによる集団検診のない40歳未満の方も、自己検診をしっかりと行うことをおすすめいたします。乳がんを、自己検診で発見し医療機関を受診される方も多くいます。自己検診で、乳房のしこり、乳頭からの分泌液、乳房の痛みがないか月に一度は確認してみてください。

この機会に是非、乳がん検診をうけてみませんか。

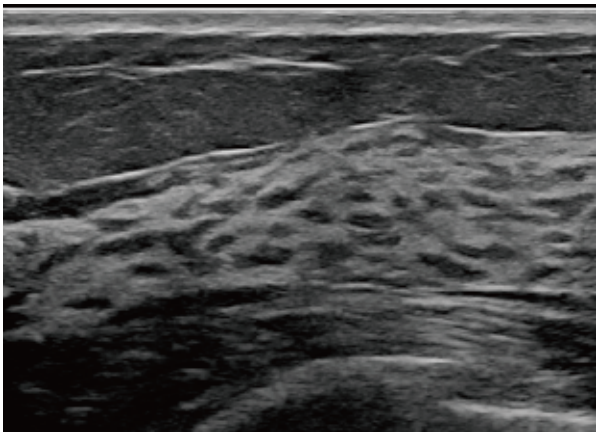
### 超音波検査



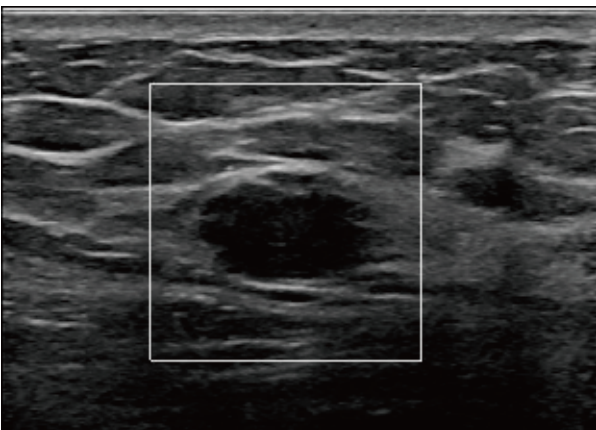
正常乳腺



乳腺症



乳腺腫瘍



(纖維腺腫)



# 村山医療センターへの外来受診方法のお知らせ

紹介患者さん専用の「地域医療連携枠」をご用意しています。

このような時にご活用ください

- ・受診の診療科(特に脊椎疾患・関節疾患など)が特定している。
- ・受診希望日時を決定したい。(予約なしの受診に比べて、待ち時間がすくないのでぜひご利用ください。

1.  
FAXで  
お申込み  
ください

## 【地域医療連携係 FAX】

# 042-561-0997

※受診依頼書 (HPダウンロード) に  
ご記入の上、貴院の情報提供書と  
ともにFAXでお送りください

<http://www.murayama-hosp.jp/pro/pro3.html>

2.  
外来予約日  
の決定

■受診依頼書の内容を確認いたします  
■診療科・受診希望日等をもとに、受診日時を  
決定いたします  
(予約状況によっては、希望日時のご希望に  
そえない場合もあります)

3.  
予約完了の  
お知らせ

■予約通知書をFAXいたします  
■予約通知書は、予約日時・当日お持ちいただく  
もの等をお知らせする用紙です。患者さんへ  
お渡しください。

4.  
予約日の  
受診

■お返事は郵送いたします

独立行政法人 国立病院機構 村山医療センター  
直通TEL:042-561-2535(平日月～金8:30～16:30)  
直通FAX:042-561-0997

## 外 来 診 療 担 当 医 師

独立行政法人国立病院機構 村山医療センター

平成29年8月1日現在

### ■ 一 般 外 来

※受付時間 (初診：8時30分～11時まで)  
再診：8時30分～12時まで)

診療科等		月	火	水	木	金	備 考
内 科		片 寄	岡 田	片 寄	岡 田	岡 田	
外 科		大 石	飯 野	平 野	飯 野	大 石	
整形外科	再 診	脊 椎	○谷 戸 ○藤 吉 ○安 田 加 藤	○○金 子 山 根 笹 治	○○許 斐 矢 内	小見山 辻	○脊髄損傷 ○側弯 △手・上肢 脊椎・脊髄 (頸椎・胸椎・腰椎)
		関 節	清 水		窪 田	吉 原	笹 崎
	一 般						
	初 診	交替制					
リハビリテーション科		小 川	植 村	竹 内		交替制(※) (第4・5金は休診)	※第1金…竹内 第2金…植村 第3金…小川
歯 科		宮 本	宮 本	宮 本	宮 本	宮 本	予約制

### ■ 専 門 外 来 (全 て 予 約 の み)

診療科等	月	火	水	木	金	備 考
内科リウマチ				片 寄 (13:00~)		予約制
側 弯			金 子 (13:30~15時)	金 子 (第2・4週 13:30~16時)		予約制
装具外来 (リハビリ科)	植村/倉片/竹内 (13:00~)					予約制
禁煙外来		岡 田 (午前11:30~)		岡 田 (午前11:30~)	岡 田 (午前11:30~)	予約制

※循環器科、泌尿器科、皮膚科、精神科については、一般外来を行っておりません。

## 受診予約のご案内

#### ○地域医療連携枠を利用した予約方法(医療機関からの患者紹介)

村山医療センターホームページ(<http://www.murayama-hosp.jp/>)より、  
「医療関係者の方へ」→「紹介患者さん予約方法」をご参照下さい。

※不明な点等は、地域医療連携室(042-561-1254)へお問い合わせ下さい。

#### ○一般の患者さんの初診予約方法

①村山医療センターホームページ(<http://www.murayama-hosp.jp/>)より、  
「オンライン初診予約」がご利用いただけます。

②電話予約(受付時間 平日 13時から17時)

初診予約電話番号 042-561-1698(直通)・042-561-0965(直通)

※不明な点等は、②の初診予約電話番号にお問い合わせ下さい。